

討論の広場

まいばら

市議会だより

77号
2024.7.24

笑顔いっぱい

花いっぱい



プランター交流会(6月15日)

地域活動とコラボ

表紙写真は、河南中学校で実施されたプランター交流会の様子です。

この交流会は、年2回実施され、今回で13回目を迎えます。季節の花の苗をプランターに植え付け、地域の方にお持ち帰りいただき、集会所・公園・玄関先などでお花を育ててもらうことで、地域の環境美化に貢献し、学校と地域の繋がりを大切にする活動です。

今回は、約300株のマリーゴールドやジニアなどの夏の花をプランターに植え、地域の方々を持ち帰られました。

河南中学区の街並みがきれいなお花でいっぱいになるのが楽しみです。

決議案

医療体制の早期確立を目指すため

本市における地域完結型医療体制の

速やかな構築を求める決議案

総員賛成で

可決

(詳しくは、19ページ)

米原駅東口周辺まちづくり事業

優先交渉権者決定による土地売却の議案

賛成多数で

可決

(詳しくは、5ページ)

¥

補正予算

総額約8億円

◎近江市民自治センター

移転工事設計業務

◎国スポ駐車場整備など

(詳しくは、7、8ページ)

まちのリアル[現実]をあなたと共有

人口変動カウンター

76号発行月
4月37,215人

77号発行月
7月37,067人

3か月
間で

148

↓
人減少

でわかる! ハイライト

“我がまちのために！”私は執行部に
ここが聞きたい 一般質問



⑧
・
⑨



①
⑦

録画配信

① 農業の実情と課題および施策
高齢者福祉の課題と施策
鹿取和幸

◀ P9

② イヌワシの保護について
指定ごみ袋の価格について
礪谷晃

◀ P10

③ 視覚障がい者の福祉施策拡充
市道碓高溝顔戸線の未整備区間
山脇正孝

◀ P11

④ 防犯灯について
山室湿原について
細野正行

◀ P12

⑤ 第3期米原市障がい者計画の
振り返りと今後の展望
今中力松

◀ P13

⑥ 非認知能力の育成
中川雅史

◀ P14

⑦ 脱炭素先行地域づくり事業について
スクールバスの運行状況について
山口久志

◀ P15

⑧ 子どもたちを万博に招待すること
消防団再編計画の進捗と問題点
藤田正雄

◀ P16

⑨ こども誰でも通園制度の試行
同性カップルの住民票の表記
振角大祐

◀ P17

本ページ上部のQRコードから
各議員の質問動画にアクセスできます。

令和6年第2回定例会の **会期** は6月6日から6月28日までの23日間

太陽光発電設備設置のため、約1万1千平方メートルの市有地を

ヤンマーHD(株)に **20年間無償貸付** することについて **総員賛成** **可決**

障がい者グループホーム整備のため、約2千平方メートルの市有地を

(社)滋賀県障害児協会に **10年間無償貸付** することについて **総員賛成** **可決**

まちなかで、分譲宅地や分譲マンションなどを

開発する業者に奨励金を交付する条例を **総員賛成** **可決**

忙しいあなたへ ほぼ5分 6月定例会

選択的夫婦別姓制度の法制化を求める

意見書の提出について総員賛成で

可決

醒井地域に診療所の設置を求める請願を賛成多数で

採択

本市における地域完結型医療体制の速やかな構築を求める

決議について総員賛成で

可決

米原駅東口周辺まちづくり事業用地の売却について賛成多数で

可決

議会在が可決した主な補正予算

今定例会の補正予算は、総額約8億円

◎近江市民自治センター移転のための設計管理委託料 320万円

◎新型コロナウイルスワクチンの定期接種化による費用 7180万円

◎JR東海と連携した総合的移住プロモーション業務 約430万円

◎国スポ・障スポ開催のための駐車場整備等費用 3380万円

◎コミュニティ活動補助金 620万円

◎米原駅東口用地売却による売却益6億9300万円を

今後の米原創生に活用するため基金に追加

可決

◀ 詳細はP4~8へ

1. 討論の対象議案

○請願第1号

醒井地域に診療所の設置を求める請願

米原市内地域医療機関の将来計画を立てるとともに、醒井地域に仮称「醒井診療所」を早期に設置することを求める請願。

2. 委員会の採決

民生教育常任委員会で請願第1号を原案のとおり採択することについて

賛成3人 × 反対4人 反対多数で不採択

3. 本会議の討論

請願第1号に対する討論

賛成

藤田 正雄 議員

私は、地域の診療所を作ってほしいという地域住民の切なる願いが妥当なものであり、そのために、地域で運動団体を立ち上げ、地域ぐるみの運動が行われ、今回の議会請願となった経過から、この「請願」を採択することは、議会の重要な役割と考える。

議会は、まずは地域住民の切実な要求についてしっかりと受け止め、その上で執行部と議会が地域全体の問題として議論を行い、多くの市民が納得する方策を作っていくことが求められる。米原市民が安心して医療を受けることができる地域医療体制の速やかな構築と、地域の願いが強く、必要性も高い「醒井診療所の早期設置」の請願の趣旨を十分理解し、採択されるようお願いしたい。

4. 本会議の採決

請願第1号を原案のとおり採択することについて

賛成7人 × 反対6人 賛成多数で採択

※本会議当日、1人欠席者がありました。

醒井地域
に診療所の設置を

求める請願を本会議において賛成多数で

採択



賛成者と反対者の一覧はP6

米原駅東口用地を
6億9300万円で

売却する議案を賛成多数で

可決

1. 討論の対象議案

○議案第60号

財産の処分について

米原駅東口周辺まちづくり事業における、米原地先および梅ヶ原地先の市有地について、優先交渉権者が決定したことにより、土地の有償譲渡を行うもの。

2. 委員会の採決

総務産業建設常任委員会で議案第60号を原案のとおり可決することについて

賛成6人 × 反対0人 総員賛成で可決

3. 本会議の討論

議案第60号に対する討論

反対

磯谷 晃 議員

処分金額6億9300万円で、坪単価に換算すると約16万4千円となる。区画整理保留地坪単価は、30万円を超えると聞き及んでおり、それとは乖離があり、米原駅周辺の土地相場に悪影響を与える恐れがある。また、米原駅東口駅前附近路線価格から導き出した坪単価は、約28万6千円である。

1グループの応募しかなく、結果的に価格評価に最高点を与えたことは、最低制限価格の設定自体に問題があったと思料する。

現段階では4社の土地活用方法があまりにも漠然としていて、雇用問題、設備投資による経済効果、税収効果など、判断材料が乏しい状況だ。

今、慌てて低価格で売却することは、将来に禍根を残すことにつながりかねないため、反対する。

4. 本会議の採決

議案第60号を原案のとおり可決することについて

賛成12人 × 反対1人 賛成多数で可決

※本会議当日、1人欠席者がありました。



賛成者と反対者の一覧はP6

第2回定例会 議決結果一覧

【総産建】総務産業建設常任委員会
 【民生教】民生教育常任委員会
 【予算決算】予算・決算常任委員会

●全員賛成で原案可決・承認・採択とした案件

番号	件名	付託先
報告第 2号	令和5年度米原市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	
報告第 3号	令和5年度米原市一般会計予算事故繰越し繰越計算書について	
報告第 4号	令和5年度米原市下水道事業会計予算繰越計算書について	
報告第 5号	公益財団法人伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団の決算および事業計画に関する書類の提出について	
承認第 1号	専決処分の承認を求めることについて（令和5年度米原市一般会計補正予算（第12号））	
承認第 2号	専決処分の承認を求めることについて（米原市税条例の一部を改正する条例）	
承認第 3号	専決処分の承認を求めることについて（米原市都市計画税条例の一部を改正する条例）	
承認第 4号	専決処分の承認を求めることについて（米原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	
議案第43号	令和6年度米原市一般会計補正予算（第2号）	【予算決算】
議案第44号	令和6年度米原市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	
議案第45号	令和6年度米原市水道事業会計補正予算（第1号）	
議案第46号	令和6年度米原市下水道事業会計補正予算（第1号）	
議案第47号	米原市まちなか住まい供給促進条例の制定について	【総産建】
議案第48号	米原市税条例の一部を改正する条例について	
議案第49号	米原市下水道条例の一部を改正する条例について	
議案第50号	財産の貸付けについて（梅ヶ原地先市有地）	【民生教】
議案第51号	財産の貸付けについて（三吉地先市有地）	
議案第52号	財産の取得について（情報系ノートパソコン）	【総産建】
議案第53号	財産の取得について（消防ポンプ自動車）	
議案第54号	市道の路線廃止について	
議案第55号	市道の路線認定について	
議案第56号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について（伊吹地域東部）	
議案第57号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について（伊吹地域北部）	
議案第58号	訴えの提起について	
議案第59号	令和6年度米原市一般会計補正予算（第3号）	【予算決算】
議案第61号	財産の取得について（除雪車）	【総産建】
議案第62号	財産の取得について（除雪車）	
発議第 2号	米原市議会会議規則の一部を改正する規則について	
発議第 3号	米原市議会委員会条例の一部を改正する条例について	
意見書第2号	選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書案	
決議第 2号	本市における地域完結型医療体制の速やかな構築を求める決議案	

●賛否が分かれた案件 ※賛成者は「○」反対者は「×」議長は採決に加わりません。

議案	付託先	討論	結果	天翔クラブ						政策研究会 マイバラ				日本共産党 米原市議団		無党派		
				山口	磯谷	鹿取	今中	矢野	中川松	鏑田	中川雅	堀江	山本	吉田	藤田	山脇	振角	細野
請願第1号 醒井地域に診療所の設置を求める請願	民生教	1	採択	○	×	×	×	△	×	欠席	○	○	○	○	○	○	×	×
議案第60号 財産の処分について	総産建	1	可決	○	×	○	○	△	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○

報告します！

総務産業建設常任委員会

予算・決算常任委員会 総務産業建設分科会

委員長・分科会長 吉田 周一郎

副委員長・副分科会長 藤田 正雄

委員 山口 久志、鹿取 和幸、矢野 邦昭

今中 力松、中川 雅史

議案第43号

6年度一般会計補正予算(第2号)

ガバメントクラウド

接続環境構築等業務に

ついて

問 標準化システムの構築方法は。

答 県内8市共同で調達し、今年度と来年度の2年間で標準化システムを構築していきます。基本的にはシステムに今の仕事を合わせていきます。

問 8年度から本格稼働するが、そのシステム利用料の財源措置は。

答 現状では国庫負担はありませんが、現行のシステム利用料と比較して増額となるため、

国に対して補助金を要望していきます。

「ガバメントクラウド」

政府が調達・整備・運用管理するサービス利用環境(データセンター)のこと

近江市民自治センターの再配置について

問 近江図書館・近江

にはにわ館に移転することとは、地元自治会の合意を得られたのか。

答 昨年度と今年度で開催した近江地域自治会連絡協議会で、再配置方針の説明を行いま

したが、特に意見はありませんでした。

問 移転時期と跡地利用について、地元の意向は。

答 令和8年1月に事務所移転を予定しています。跡地の活用方針は、まだ決定はしていませんが、売却を含めて地元の意見を聴きつつ検討していきます。

問 職員を4人配置する必要性は。

答 現状をしつかり見極めた上で、適切に判断していきます。

JR東海と連携した「まいばら関係人口創出プロジェクト」について

問 名古屋駅で本事業

を実施するが、どの程度効果が見込めるのか。

答 JR東海から事業実施の提案があり、県の補助金を活用しつつ、チャレンジ的な思いでこの取り組みを行います。この事業単独

での効果を求めるものではなく、事業を通じて本市に興味・関心のある人を発掘し、最終的に移住につなげることが目的です。

問 事業の委託料は適正な金額か。

答 一般企業も含めて同様の金額でイベントをされていると聞いており、企業も一定の効果を見込んで実施されているため、適正な金額と判断しています。

議案第47号米原市まちなか住まい供給促進条例の制定について

問 事業者にどのような周知・アピールしていくのか。

答 業界団体(滋賀県宅地建物取引業協会など)を通じて、制度の制定や内容について周知に努めていきます。

議案第53号財産の取得について(消防ポンプ自動車)

問 消防ポンプ自動車の更新予定は。

答 今回は米原第4分団(醒井班)を更新し、8年度に山東第1分団、10年度に山東第2分団を予定しています。順次、20年ごとに更新する予定です。

議案第58号訴えの提起について

問 無許可占有者が里道にフェンスを設置していることから、撤去を訴える案件だが、現在の状況は。

答 現地を確認しましたが、いまだ撤去されていません。

委員質問

JR東海と連携した「まいばら関係人口創出プロジェクト」では、以下のような意見が上った。JR東海が主導権を握っているように思える。本市は主体性を持ち積極的に提案をしてほしい。3日間

どの程度反応・効果があるのか、またアンケートを取ることについて、移住に興味・関心のない人は答えてもらえないのではないかとこの事業はチャレンジとのことだが、単発的ではなく、移住施策の全体像・全体計画を示したうえで、その中の一つの事業であるならば一定の理解はできる。その他、多くの意見が出された。

討論・採決結果

付託された議案のうち、補正予算を除く議案の採決を行いました。慎重審査の結果、議案第47号から議案第49号までの条例案件、議案第52号から議案第58号および意見書第2号は総員賛成により原案のとおり可決すべきものと決しました。

民生教育常任委員会

予算・決算常任委員会 民生教育分科会

委員長・分科会長 山本 克巳

副委員長・副分科会長 振角 大祐

委員 磯谷 晃、細野 正行、山脇 正孝

中川 松雄、堀江 一三、鏑田 明

報告します！

二つの財産の貸し付けについてどのように考えるのか

補正予算

◎一般会計

問 坂田小学校の駐車場整備の遅れについて、工事業者との請負契約保証制度と今後のスケジュールはどうなっているのか。

答 今回の場合、工事業者が保険会社の保証証券を提出しています。工事を履行できなかったということになるので、これが現金納付の場合は没収になり、保証証券の場合については、工事業者が支払うか、保険会社が代替して支払うという形にな

不動産鑑定を入れて評価を出しています。今回についても同様に考えてこのような単価に設定しました。

財産の貸し付けについて

問 脱炭素先行地域の事業において梅ヶ原地先市有地を無償で貸し

付けるよりも、米原市が貸付料金を徴収した方がいいのではないかと、土地の賃貸を有償とする分、電気代は上がるが、その分、土地の貸付料金という形で入ってくる。長期的にみて、結果どちらの方が得なのか。

答 貸付料金を徴収する形ですと、市が支払う電気代が上昇します。試算では、年間451万7150円の貸付料となり、貸付料と経費あるいは消費税などを考えていくと、土地の貸し付けを無償にした方が市としては有利と考えています。

問 貸付期間20年の根拠は。

答 貸付期間については、普通財産の貸し付けということで、市の公有財産規則に基づき、最長20年のルールにの

つとって20年間の貸し付けと考えています。

問 滋賀県障害児協会によるグループホーム施設整備において、財産貸し付けが息郷保育園跡地に選定された根拠と、この事業にかかる全体の経費負担について。

答 選定された根拠は、息郷保育園跡地の方が、整備に係る費用面が抑えられることです。

総事業費については、国庫補助対象外を含め、全体計画は約1億7500万円で施設整備の計画が出されています。そのうち、国庫補助対象については、約1億5千万円。そして、この1億5千万円のうち、国補助の上限

が4760万円で申請をされ、県費については、その半分、2380万円で、合計7140万円という形で国庫補助の申請がされています。

そのほか県の単独補助制度を使い、1500万円の予算枠を取られました。

今回、国庫補助の内示がつけば、湖北圏域の整備ですので、長浜市と米原市、共同で先ほどの県費と同額の2380万円を支援しようと考えています。

これに係る負担比率については、人口などの割合により、長浜市と米原市でそれぞれ3対1の割合で考えており、長浜市が約1500万円。米原市が約900万円の補助を考えています。

討論・採決結果

補正予算については、討論はなく総員賛成で可決するものと確認しました。

議案第51号については、賛成多数で、議案第50号については総員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、請願の審査経過について、質疑終了後、討論を求めたところ、賛成、反対それぞれ討論がありました。採決の結果、請願第1号は、賛成少数により「不採択」と決しました。



鹿取 和幸 議員

- 農業の実情と課題および施策について
- 高齢者福祉の課題とその施策について
- 日本語教育に関する施策について

農業の実情と課題
および施策について

問 米原市における農業の実情について。

答 本市において、農業を経営されている方は農林業センサスの調査結果では、平成27年は1751戸、令和2年では1273戸となり478戸が減少しました。

農地面積については、同じく農林業センサスから、平成27年が1936畝、令和2年には1882畝となり、54畝減少しています。耕作放棄地の面積は、市および農業委員会で実施する「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査」において、平成30年度は29・6畝、5年度は56・2畝となり、5年間で26・6畝増加しました。

多面的機能発揮促進事業のうち、世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策に取り組む自治会は、平成30年度が42自治会、5年度は47自治会となり、5自治会增加しました。

中山間地域直接支払制度に取り組む組織は、平成30年度が12集落、5年度においても同様でした。

環境保全直接支払制度に取り組む組織は、平成30年度が18組織、5年度は13組織で、5組織減少しました。農業推進のための予算は、平成30年度は、約3億8千万円、6年度は約4億1千万円となり、約3千万円増額しています。

高齢者福祉の課題とその施策について

問 米原市の高齢者福祉の施策について。

答 新たに策定した「第9期介護保険事業計画」では、高齢者の状況や課題、前期計画の取り組み状況などを踏まえて、特にフレイル対策の充実、生活支援の充実、重層的支援体制整備事業、認知症施策の充実、介護福祉人材の確保・定着・育成の5項目を重点事業に位置付けています。

具体的には、地域の居場所づくりや生活支援サービスの充実、健康寿命の延伸を図る介護予防の充実、移動を支える仕組みづくりを検討していきます。さらに、判断能力が低下した高齢者の権利擁護や、身近に頼れる人が

いない状況にある高齢者の意思決定支援にも取り組んでいきます。

日本語教育に関する施策について

問 米原市の在留外国人数とこれまでの取り組みについて。

答 本市の外国籍市民の方の状況は、令和6年5月31日現在、684人で、本市の人口に占める割合は、1・8%です。

また、各種施策の取り組みについては、市民一人一人の権利が尊重され、年齢、性別、国籍、障がいの有無など、人々の様々な個性や違いを超えて、多様な主体が共生できる社会を実現することを目指し、事業を推進しているところです。特に平成23年に、米原市多文化共生協会が

設立されて以降は、協会と市が連携して、日本語教育として、日本語教室の開催や、通訳業務、翻訳業務を始め、外国籍市民の方を対象とした相談業務や国際文化交流事業の開催など、様々な事業を展開し、多文化共生社会の実現に向けた取組を進めてきました。



録画配信はこちら

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問



磯谷 晃 議員



録画配信
はこちら

○イヌワシの保護について
○指定ごみ袋の高価格について

イヌワシの巣を
報道発表したのは誰

問 イヌワシが伊吹山ドライブウェイ近くに巣を作り、子育てしていると誰が報道発表したのかを問う。

答 伊吹山ドライブウェイ終点近くに営巣していることは、米原市が報道発表しました。

わざわざ報道発表した理由について

問 保護とは逆効果となりそうな報道発表を行った理由について問う。

答 指摘のとおり、イヌワシが営巣していることを広く知らせてしまふことにつながる懸念もありました。

しかし、これまでから、他の場所でもイヌワシの巣にカメラマンなどが近づき過ぎた例

もありました。伊吹山ドライブウェイが開通すると、カメラマンなどにより即座に営巣していることが知れ渡り、現地は混乱を極めることが懸念され、悪影響を及ぼしかねず、保護できない恐れがあると判断しました。

このため、伊吹山ドライブウェイ開通前に容易に乗り越えられない防護柵を設置するなどの安全対策を行い、イヌワシの保護を呼び掛けるため報道発表を行うこととしました。

ごみ袋の料金が高い
小売店への手数料は

問 私は、過去の一般質問において、ハッピーマンデーの関係から月曜日が祝祭日と重なり、可燃ごみ収集がされないことが多く、週2回完全収集を実施す

べきとただした。しかし、米原市長にお願いするよりも、湖北広域行政事務センターへ支払っている負担金が圧倒的に多い長浜市長をはじめ、センターの新管理者へお願いすることが効果的と思いい直談判した。

その成果があつてか、本年4月から年末年始を除き週2回の完全収集が実現された。今回は、指定ごみ袋が彦根市と比べ、極端に高いことから、物価高の今日、何とかならないかと、何点かただした。

まずは、小売店舗への販売手数料について問う。

答 指定ごみ袋は、1袋に10枚入っており、販売手数料は、どの容量種類でも、1袋当たり30円です。

単価はどのように
して決まるの

問 指定ごみ袋の単価について、どのようにして決めているのかを問う。

答 指定ごみ袋の単価については、平成20年10月からごみの減量化とリサイクルの推進、また負担の公平化を図るため単純従量制を採用し、有料化されています。

指定ごみ袋の価格設定については、平成20年にごみ袋指定制度検討委員会において検討され、指定ごみ袋の製造コストと、指定ごみ大袋の容量45ℓを処理するための処理原価を基に、1㎏当たり1円が適当であるとして決定されました。当時の価格設定の考え方としては、指定ごみ袋製

造コストに加えて、ごみ処理費用からも購入者に3分の1程度の負担をいただいています。このことから結果的に排出されるごみの処理負担の公平化や、ごみ排出量を抑えるため各家庭のごみの排出量に応じた費用負担をごみ袋料金として徴収して

(税込み)

米原市		彦根市	
容量45ℓ	450円	容量40ℓ	143円
容量30ℓ	300円	容量30ℓ	121円
容量20ℓ	200円	容量22ℓ	110円

指定ごみ袋(10枚入り)料金 彦根市との比較
彦根市と比べて、どのごみ袋料金も高くなっている



山脇 正孝 議員

- 視覚障がい者用支援ハンドブックの作成
- 市道碓高溝顔戸線の未整備区間の着工
- 小中学校の2学期8月末開始の決定理由

支援ハンドブックの作成を

問 視覚障がい者が利用できるサービスや制度に特化した支援ハンドブックの作成を。

答 本市では、QRコードをスマートフォンで読み取ることで、書類の内容を音声で聞ける取り組みを3月から始めました。

なお、スマートフォンをお持ちでない方もおられることから、当事者の意見も聞きながら、視覚に障がいのある人であっても理解しやすい形で、視覚障がい者に対する支援ハンドブックを作成したいと考えています。

碓高溝顔戸線の全線着工を

問 1978年に整備決定された市道碓高溝

顔戸線は、総延長1180mの内、40mの国道高溝交差点部分が未着工だ。この道路が未整備のため、国道8号バイパスの東側に住む人たちは、買い物、医院、銀行、学校などに行くには、バイパスを越えて西側市街地に行かなければならない。また、信号のない見通しの悪い道を横断しなければならず、高齢ドライバーにとって危険だ。この状況を改善すべく、早期着工が望まれるが、事業費の総額と着工完了予定はいつか問う。

答 地元住民の不安を取り除けるような道路整備についての話し合いを進めた上で、着工していきたいと考えています。事業費については、測量設計費と工事費で1億円程度と見込んでおり、国道事務

所や公安委員会との協議に時間を要すると予想され、測量の実施から完了までに5年程度必要と考えています。

問 市長の見解を伺う。

答 この道路は、合併した当時の近江町長から直接話を聞いています。私としては、自治会との調整にも多くの時間が経過していると受け止めています。議員が指摘されたように、地域の皆さんと一緒に安全な道路を作る動きをもっと積極的にやることも大切です。安全で、そして親しまれるとまではいかないかもしれませんが、みんなで作った道路との担保が得られたら、行政としても、もう一歩前へ出られるという感想を持っています。部長が答弁したことを基本にしながら、できる

限り速やかに着工できるように努力したいと思えます。

2学期の8月末始業の理由を

問 2学期の8月末始業の決定理由は。

答 今年度の2学期の始業日は、8月28日としています。昨年度は8月29日から開始していた給食を、9月開始へと遅らせました。始業式を含む3日間を午前中の授業にすることで、児童・生徒の体を登下校や学校生活に徐々に慣らしていく狙いがあります。

また、教職員の働き方改革の観点から、この3日間の午後を

学期初めの教職員の事務処理時間として確保することも狙いとしています。



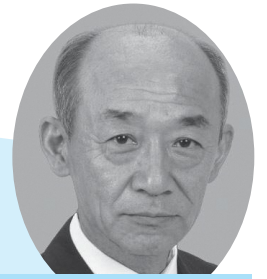
碓高溝顔戸線の未着工地点 (国道高溝交差点向かって奥側)



録画配信はこちら

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問



細野 正行 議員



録画配信
はこちら

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問

- 防犯灯設置について
- カーブミラー設置について
- 山室湿原について

防犯灯の要望は個人でもできるのか

問 防犯灯は、公共エリアに設置される照明器具で、夜間の視界を確保し、犯罪を抑止する目的で設置されている。安全確保のための設備だが、予算を超過したら、どのような緊急があっても防犯灯は設置できないのか。

答 基本的には予算の範囲内で設置することになります。緊急性が高い場合は補正予算などで対応します。

問 自分が住んでいる自治会以外で、夜間通行するときに、暗くて危険な場所があったら、防犯灯の設置要望をどこにすればよいのか。

答 要望先は、防災危機管理課へお願います。個人からの要望も

カーブミラーの設置基準を設けているのか

受け付けており、自治会からの要望と同様に必要性を検討します。

問 他市の町村では、設置基準などが掲載されているが、本市では設置基準などを示されているのか。

答 設置基準は現時点では設けていません。国の道路構造令などでは、見通しの悪い交差点や道路の屈曲部などで、他の車両などの確認が必要な場所にはカーブミラーを設けるものとなっています。そのため現地の確認を行いながら設置の判断を行っています。

問 ホームページに、市民にも分かりやすいカーブミラーの設置基準を掲載できないか。

答 他市町の事例など



山室湿原の貴重植物の保護を

も参考に、設置基準の策定と併せてホームページへの掲載も検討します。

問 山室湿原は希少種のサクラバハノキやカキランが群生し、日本一小さなハッチョウトンボをはじめ、希少な生物が数多く生息している。

昨年から第五湿原に群生しているカキランの花が鹿に食い荒らされている。市として対策を取っているのか。

答 昨年8月、鹿による植物被害が発生して

いるとの相談が寄せられ、市の職員が現地確認を行いました。

湿原の周囲には、高さ1.5mの柵が設置されていますが、鹿がこの柵を乗り越えたため、昨年度は、一部のエリアで、「湿原を考える会」が、既存柵に高さ1.5mのネットを増設するなどして、応急的に鹿の対策を取っていただいている状況です。

問 鹿の食害が発生している中、所管の生涯学習課の範疇を超えていると感じる。自然保護業務として、まち保全課も対応できないか。また、防護柵を部分的ではなく、全周設置する必要があると感じるが市の考えは。

答 鹿の防護対策には、高さ2.0m以上の防護柵を設置する必要があります。現地を確認し、

生涯学習課と連携して対応を進めていきます。



花卉を食べられたカキラン



山室湿原のカキラン

写真提供：湿原を考える会



今中 力松 議員

○第3期米原市障がい者計画の振り返りと 今後の展望

グループホームの 整備の進捗

問 平成30年3月に、「障がいのあるなしにかかわらず、誰もが等しくかけがえのない個人として認めあい、尊重され、分け隔てられないことなく支え合い、ともに暮らせる社会の実現を目指す」ことを目的に第3期米原市障がい者計画が策定された。

令和3年12月議会で、「親亡き後も、重度の障がいを持つ子が安心して暮らせるグループホームを実現してほしい」との市民の願いを伝えただしたが、当時の答弁は「切実な問題と受け止めているが、介護職員や看護師などの人材確保が困難なため、実現までには時間を要する」という回答

であった。

5年度で、第3期障がい者計画が目標年度の終了を迎えた。重度の障がい者が利用できるグループホームの整備の見通しは。

答 医療的ケアが必要な身体障がいと知的障がいを併せ持つ重症心身障がいの人と、重度の知的障がいのために行動障がいのある人とは、グループホームの形式は異なります。現在、市内において、長年の課題であった、重症心身障がいの人を受け入れるためのグループホームの整備計画が進んでいます。

就労継続支援B型などの 市内事業所の状況

問 生活介護事業所や就労継続支援B型などの市内事業所の状況は、第3期障がい者計

画の策定以降、市内で事業所がそれぞれ1か所ずつ新たに開所され、生活介護事業所は4か所、就労継続支援B型事業所は5か所に増え、定員数は改善されました。

就労継続支援A型事業所も、新規事業者が市内で1か所開所し、現在3か所となり、市外でも数か所開所されるなど改善傾向にあります。

しかし、特別支援学校卒業生に加えて、病气や事故などにより障がい者となった、いわゆる中途障がい者の需要もあることから、定員数に余裕があるとは言えません。

福祉の人材確保

問 福祉の人材確保のための支援制度は。

答 4年度から奨学金給付審査会で福祉・保育・医療などの専門分野を目指す人を重点職種として位置づけ審査し、4年度は2人、6年度は4人に、奨学金による支援を行っています。

障がい者グループ ホームの基準

問 障がい児の保護者から、自宅をグループホームにできないかとの相談を受けた。運営の基準について問う。

答 運営するためには、県が定める設備基準と人員配置基準を満たし、県から指定を受ける必要があります。

また、必要な人員数、サービス管理責任者の

配置などが定められています。

設備に関しては、建物の立地、定員、食堂などの必要な部屋、居室の1部屋当たりの広さ、耐震基準なども定められています。

障がい者グループホームの整備は、今後も推進が必要と考えています。整備事業は県の認証事業であるため、相談があれば、できる限り情報を提供し、県担当課へつなぐなど、整備に向けた支援を行っています。



録画配信
はこちら

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問



中川 雅史 議員



録画配信
はこちら

○非認知能力の育成

非認知能力の 重要性について

問 非認知能力の育成について市の見解は。

答 非認知能力には、自分自身の内にある力と他者との関わりの中で発揮される力があります。

自分自身の内で育つ力には、目標に向かって最後までやり遂げようとする強い精神力や、ありのままの自分を認める自己肯定感などがあります。

他者との関わりの中で育つ力には、相手の立場に立って考える思いやりや、いじめを許さない正義感、自分を他者のために生かさうとする自己有用感などがあります。本市は自己肯定感と自己有用感に着目しています。これらの能力を高めるこ

とが、激しく変化するこれからの時代を生き抜いていく子どもたちにとって、重要だと考えています。

市が掲げる教育スローガンの「子どもたちが自分でつかむ自分の未来」を実現するための根源的な能力となると捉えています。

問 幼児期における非認知能力の育成は。

答 就学前保育・教育で、生涯にわたる人間形成の基礎的な力を育むために、「大人との温かい関わりのもとでの環境を通じた遊び」を大切にしています。この考えのもと、日々の保育の中で、やり抜こうとする力、気持ちコントロールし自分を認める力、人とコミュニケーションを図る力を育み、自己肯定感や自己有用感の基礎を

育成することを目指しています。

問 小中学生期における非認知能力の育成は。

答 各学校で作成した教育ビジョンを基に、様々な教育活動の中で、意図的に自己肯定感と自己有用感を高めるよう計画しています。

子どもたちの「良さ」、「成長」、「可能性」を実感できる機会を提供することで、子どもたちは自己肯定感を高め、自分に気づき将来を指そうとする夢を抱いてくれると考えます。

子どもたちが発達段階に応じた社会貢献活動を体験し、自分も他者のためになるという自己有用感を持ち、自分を社会に生かさうとする志を抱くようになっています。これらの夢や志を

現するために、学校では、子どもたち自身が、何を、どのように学ぶかを考える教育、何が出来るようになったかを実感できる教育を進めています。

問 非認知能力の向上に向けた今後の課題は。

答 本市の教育委員会が目指しているシビック・プライドの醸成に根ざした活動や、体験活動の充実が課題です。ふるさと米原を愛し、誇りをもち、夢と志を抱いて行動する人を、幼少期から育てていく必要があると考えます。幼児教育、学校教育、生涯学習を通して自己肯定感と自己有用感を高めることが、市民の幸せにつながるものだと考えます。

○非認知能力

学力テストや検定試験など数値で測ることが難しい「心の力」や人間性を指す言葉。数値では推し量れない能力、協調性、忍耐力、自己制御、共感力、問題解決能力など、これらの能力は日常生活や学校生活、仕事や人間関係に大きく影響すると言われている。



山口 久志 議員

○脱炭素先行地域づくり事業について ○スクールバスの運行状況について

脱炭素先行地域づくり事業について

問 先行地域が柏原地先から小泉地先へと変更になったが、市内の耕作放棄地で、なぜ小泉地先を選定したのか。
答 495世帯分の電力を確保する計画です。この電力を確保できる営農型太陽光発電設備を設置すること、耕作放棄地で営農者を確保するという条件が満たされた地域が小泉地先であったためです。

問 小泉地先における地権者の同意状況は。
答 地権者15人に交渉し、13人はおおむね了承されました。残りの2人には、協力いただけるよう交渉を続けています。
問 柏原地先で行う予定であった貨客混載MaaSやグリーンツーリズムなどの構想は小泉地先でも可能か。
答 MaaSについては、営農計画と併せて生産した農作物の出荷方法などを関係課などと協議を進めています。グリーンツーリズムは、既に営農者がこの農地で棚田ワークショップなどの活動をされています。小泉地先だからこそできることを推進したいと考えています。

問 地権者の期待する賃借料が、営農者にとって高額でないか。また耕作放棄地を耕作土に戻すための費用など、小泉地先の課題に対する対策はどうか。
答 地権者へ支払う賃借料については、評価額を上限とすることを説明しています。また、耕作土については、草を刈り耕せば耕作は可能と、営農者から聞いています。そこに要する費用は、耕すための人件費が必要です。
問 小泉地先で営農型太陽光発電を行う場合の課題は。
答 農地に接する市道の幅員が狭く、大型の農機具が搬入できないことや、獣害対策が課題です。

問 取り組みスケジュールも含め、思い描いている構想が現実的に可能か。
答 6月中には、事業の中心的な役割を担う地元住民や営農者で構成する小泉エコビレッジ推進協議会を立ち上げ、具体的な議論を進めます。
問 取り組みスケジュールも含め、思い描いている構想が現実的に可能か。
答 6月中には、事業の中心的な役割を担う地元住民や営農者で構成する小泉エコビレッジ推進協議会を立ち上げ、具体的な議論を進めます。

スクールバスの運行状況について

問 今年4月から運行業務を民間業者に委託されたが、直営運行との違いについて伺う。
答 直営で運行していた時は、運転手は5人体制であったため、緊急時の手配に苦慮していました。現在は16人体制でシフトを組み、円滑なスクールバスの運行ができています。また、交通安全はもとより、児童・生徒の乗降時の安全確保などバス運行事業者として社員教育を徹底されています。

問 通学に関する基本方針を改めて検討されたか。
答 基本的な考え方は、現時点で変更する必要はないと判断しています。自治会要望など個別具體の事案は、地域の事情を踏まえて適時検討し対応しています。
問 スクールバス運行ルートの見直し時期だ
答 運行ルートは、社会情勢の変化に対応した安心安全なルートを模索していきたいと考えます。

○MaaS（マース：Mobility as a Service）
地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせ、検索・予約・決済などを一括で行うサービス
○グリーンツーリズム
農山漁村地域において自然・文化・人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動

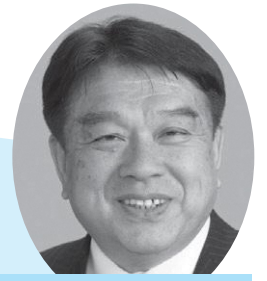
引用：国土交通省・農林水産省



録画配信はこちら

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問



藤田 正雄 議員



録画配信
はこちら

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問

○県が計画する、子どもたちを大阪・関西万博に招待する事業に対する市の対応について問う ○消防団組織再編計画の進捗と問題点について市の考え方を問う

県の児童・生徒の万博招待事業を問う

問 県の事業意向調査はいつ行われたのか。

答 昨年11月に実施されました。この調査では、市内の4校が「活用予定または活用を検討する」と回答し、3校が「予定はない」と回答し、その他は未回答でした。

問 万博は費用の増大、海外パビリオンの撤退、敷地内でのガス爆発など大きな問題を抱えている。参加の意味をどう考えているのか。

答 将来を担う子どもたちが、世界各国の様々な展示や催しに触れることで、興味や得意分野を自覚し、自身が進む道を思い描いたり、チャレンジ精神を養ったりすることができると考えています。



3月28日に発生したガス爆発の様子
(出典: <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240522-04/>)

問 学校行事としての参加可否の最終判断はいつ、誰がするのか。

答 各学校の判断と考えています。今年度の活用希望調査の回答締切が9月6日であることから、最終判断はこの日です。

問 学校行事として参加した場合の費用負担はどうか。

答 学校行事として万博に参加する場合は、校外活動として、児

童・生徒1人当たり500円の補助、修学旅行なら、1人当たり小学校で2000円、中学校で3500円の補助を市から出す予定です。就学援助を受けている児童・生徒については、就学援助規則により、学校行事の必要経費を給付することができます。

問 学校行事として取り組まない年齢児や児童・生徒のチケットの取り扱いは、

答 県万博推進室のホームページより申し込むことで、チケットの入手が可能です。

消防団再編計画の進捗を問う

問 自治会間の話し合いは行われているのか。

答 昨年12月に説明会を開催し、今年度、新自治会長にも改めて説明をしました。自治会間の協議については、いくつかの自治会から協議をされていると聞いています。

問 機材の再配置などが決定した班はあるのか。

答 小型ポンプなどの払い下げ希望は9月中旬で、現在6自治会が希望されています。消防車庫の場所の選定は12月中の報告をお願いします。

問 今まで消防班がなかった自治会について

答 消防班がない自治会へは、消防団の活動

などが分かる資料を提供し、希望された自治会には個別に説明を行っています。消防団員がいることで、その地域の防災力が向上するため、団員確保に向けて引き続き丁寧な説明に努めます。

問 自主防災組織と消防団活動の連携はどうなるのか。

答 非常に重要と考えています。今回の再編が合併班の自治会間の連携にもつながるので、はと考えています。

問 新興団地での人選が難しいと聞いている。最初が肝心である。計画の実施時期を伸ばせないか。

答 多くの自治会が定数通り人員を協力いただくと考えています。現時点において令和7年4月の実施時期の延長は考えていません。



振角 大祐 議員

- 米原市子ども誰でも通園制度の試行的事業
- 子どもの「居場所」などを支える仕組み
- 同性カップルの住民票の表記

子ども誰でも通園制度の試行的事業

問 子ども誰でも通園制度とは。

答 未就園児の子育て家庭が、保護者の就労要件を問わず、月一定時間（今年度の事業では10時間）まで保育所などを利用できる制度です。

保育士が保護者に子育てのアドバイスを行ったり、親子で園の様子を見学し、子どもの成長や発達を実感してもらうなど、子どもの育ちを応援し、子育て家庭への支援を強化するものです。

問 国の補助事業として実施するには、子ども1人当たり月10時間の上限は必須だったのか。

答 月10時間の上限は必須ではありません。

問 昨年度の事業から子どもの預かり可能時間が、月10時間に減っている。月10時間では子どもが慣れず、負担になると専門家から懸念が出ている。今年度中に増やす予定はないのか。

答 今年度は、利用時間を増やす予定はありませんが、保護者や現場の保育者の意見も伺い、子どもにとってもより良い方法を検証します。

子どもの「居場所」などを支える仕組み

問 フリースクールを利用する児童・生徒の保護者に対して補助を行うフリースクール利用児童生徒支援補助事業の利用実績と、利用児童・生徒が通っているフリースクールの設置市町について、過去

3年分の実績は。左の表に示します。

年度	利用実績	設置市町
3年度	—	彦根市、長浜市
4年度	4人 合計 20万2千円	大阪市、彦根市 長浜市、米原市
5年度	4人 合計 19万2千円	大津市、彦根市 長浜市、米原市

問 米原市はフリースクールなどを利用して児童・生徒の保護者に補助をしている。しかし、利用者の負担軽減にはなるが、運営団体の運営が厳しい状況には変わりない。市内の団体へ運営補助を行うような制度を作る考えはないか。

答 不登校となってい

同性カップルの住民票の表記

問 現在、米原市では同性カップルの住民票に、事実婚を示す表記が、なぜできないのか。

答 「同性カップルの続柄をどう表記するか」については定めがなく、多くの自治体では、同性カップルが住民票を同一世帯とした場合、続柄は「同居人」と表記しています。本市においては申し出があれば「同居人」または「縁故者」と表記します。

問 同性カップルの住民票に、事実婚を示す表記を可能にし、当事者たちの権利を守る考えはないか。

答 長崎県大村市で事実婚の取り扱いを同性カップルに準用したことがきっかけとなり、同性カップルの法的な位置づけの議論が進められると考えます。パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を導入している本市としても、総務省の見解などを踏まえて検討していきたいと考えます。



録画配信はこちら

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問

米原市議会議員研修会

議会 BCP（業務継続計画）策定に向けて
災害時でも迅速に動ける住民代表機関としての在り方を考える

5月16日に行政法学の専門家である龍谷大学法学部教授の本多 滝夫 氏をお招きし、「地方議会のBCPとオンライン議会の可能性」をテーマとした本市議会の独自研修を実施しました。

本研修会では、議会においてもBCPを策定して平時から備えることで、災害時などの状況でも議会運営を継続し、議会としての機能を迅速に果たせる運用・計画などについて講演いただきました。

併せて、昨今のDXを受け、委員会のオンライン化についても触れられ、議員が自宅などの遠隔地からでも委員会に出席できる手法・留意事項などについても説明いただきました。

この研修を受け、本市議会においてもBCPの策定やオンライン委員会の導入について、議員間で議論を深めていきます。



研修の様子

常任委員会 行政視察研修

先進地の事例を市政に活かす

民生教育常任委員会 行政視察研修
地域の力を借りて中学生・教員の部活動環境改善を図る

5月24日に岐阜県羽島市で、部活動の地域移行について視察を行いました。羽島市では、総合型地域スポーツクラブが、休日における地域部活動の指導を担っており、全国的にも非常に先進的な取り組みを行っています。

本視察では、保護者からの要望で地域移行に至った経緯や、運営に当たってハンドブックを作成し、課題解決をしっかりと果たしていること、またスポンサーの確保により、生徒たちの必要物品を購入しているなど財政面もカバーした運営をされていることなどを伺いました。その活動内容からこの事業に対しての生徒の満足度は90%にもなっています。

本市においても、今年度から部活動地域移行検討委員会が開催され、本格的に部活動の地域移行が進んでいきます。議会としても生徒にとって柔軟な選択肢が取れるようサポートしていきます。



羽島市役所にて視察の様子

米原駅東口

駅前開発特別委員会

米原駅東口周辺まちづくり事業
ついに米原駅東口用地の優先交渉権者が決定される

6月6日に米原駅東口駅前開発特別委員会が開催され議会に対して、用地優先交渉権者決定の説明がありました。

企業5社と事業に関する基本協定を締結し、各社が滋賀県東北部の玄関口としての魅力を最大化する5つの特徴的なゾーンを作り出されます。議会は事業の進捗を見守りながら、米原駅東口におけるまちづくりを注視していきます。



米原駅東口用地開発後の完成予想図

米原市を取り巻く厳しい現状を伝える

橋梁工事の財源確保と伊吹地先土砂災害からの復興を要望

老朽化が進んでいる長久寺跨線橋の長寿命化工事において、国からの補助内示額が、当初予定額よりも減額されていることが判明しました。このため、6月25日に急遽上京し、JR東海との調整工事となることから、国土交通省へ当初の予定どおり補助されるよう要望しました。



老朽化が進む長久寺跨線橋

7月8日には、7月1日に発生した伊吹地先での土砂災害からの復旧に向け、県の早急な対応を促すため、自民党滋賀県連へ緊急要望書を提出しました。内容は、市の要望を後押しするもので、早急に砂防ダムを新規に整備することや、原因究明のため、国土交通省の緊急災害対策派遣隊（テックフォース）を早期に派遣すること、加えて長浜土木事務所が円滑に活動できる環境づくりを行うことなどを要望しました。議員活動として、財源を確保することも一つの役割です。



満砂になった砂防ダム(伊吹地先)

被害に見舞われた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早く元の生活に戻れるよう、議会としても尽力していきます。

本定例会で採択・議決された、意見書・決議案要約

意見書第2号 選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書案（要約）

選択的夫婦別姓制度の導入を求める声は、ますます切実である。現行民法では夫婦別姓での婚姻が認められていないことから、不利益・不都合を強いられており、両性の平等と基本的人権を掲げた憲法に反する。選択的夫婦別姓に関して、世論が大きく変わっている今こそ、早期に民法改正にむけて国会で議論をすることが求められる。このことから国会・政府におかれては、選択的夫婦別姓制度の法制化に取り組みられることを強く求める。

内閣総理大臣などに提出

決議第2号 本市における地域完結型医療体制の速やかな構築を求める決議案（要約）

全国的にも医師不足が顕在化する中、地域医療の担い手不足が深刻化することは、避けることが困難な状況にある。本市では、既存施策の改善など、医療を受ける側に立った総合的・複合的な医療体制の構築が必要である。

行政が新たな施設を設置することは、極めて困難だが、心のよりどころであった医療機関が廃業されることは、地域の市民にとっては切実な不安要素でもある。

これまでのような社会生活基盤の恩恵を同じように受け続けることは難しい状況だからこそ、行政は、住民の不安を払拭すべく、社会情勢に応じた医療体制について、早急に示す必要があると考える。

市長におかれては、今回の請願を布石とし、他の施策との複合的な観点から検討を重ねた上で、本市において真に必要なとされる医療体制の方針を早急に示されることを求める。

また、国に対し、診療所における管理者としての常勤医師の配置基準に関し、さらなる規制緩和を求めるよう働きかけられたい。

米原市長に提出

令和5年4月分から令和6年3月分までの
政務活動費を精算しました。

令和5(2023)年度
政務活動費収支報告

政務活動費とは…

地方自治法に基づいて市議会議員の調査研究その他の活動に資する経費の一部として交付されるものです。

交付対象や額、交付の方法、政務活動費を充てることができる経費の範囲は、「米原市議会政務活動費の交付に関する条例」に定められています。

交付額は…

議員1人当たり
月1万2千円

「会派」または「会派に属さない議員」に対して交付されません。

使い道は…

ページ下段の表のとおり、先進地調査などに要する交通費や宿泊費、研修会などへの参加費、広報紙の印刷費や折込手数料、事務用品費、活動に必要な書籍の購入などに使われています。

● 政務活動費の収支報告一覧表 (会派の構成は、令和6年3月末時点のものです。)

単位：円

会派名		天翔クラブ	政策研究会 マイバラ	日本共産党 米原市議団	会派に属さない議員		
構成人数等		7人	4人	2人	振角大祐	細野正行	
収入	内訳	交付額	1,008,000	576,000	288,000	144,000	144,000
		その他(利息)	6	2	0	0	0
	収入合計		1,008,006	576,002	288,000	144,000	144,000
支出	内訳	調査研究費	0	399,469	0	0	0
		研修費	0	0	118,000	0	60,990
		広報費	536,552	0	226,438	0	0
		要請・陳情活動費	308,549	0	0	0	0
		会議費	0	0	0	0	0
		資料作成費	139,874	155,193	20,997	0	0
		資料購入費	21,230	20,295	18,183	144,375	101,750
	支出合計		1,006,205	574,957	383,618	144,375	162,740
自己負担額		0	0	95,618	375	18,740	
返還額		1,801	1,045	0	0	0	

※残額があった場合は返還し、支出額が交付額を超える場合は自己負担しています。

● 政務活動費を充てることができる主な経費

項目	内容	例
調査研究費	市の事務に関する調査研究・調査委託に要する経費 調査研究のために必要な先進地調査・現地調査に要する経費	交通費、旅費、宿泊費、 調査委託費等
研修費	研修会の開催に必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費	講師謝金、会場費、参加費、 交通費等
広報費	活動・市政について市民へ報告するために要する経費	印刷費、新聞折込手数料等
要請・陳情活動費	要請・陳情活動を行うために要する経費	交通費、旅費、宿泊費、 資料印刷費等
資料作成費	活動に必要な資料の作成に要する経費	印刷費、事務用品費等
資料購入費	活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費	書籍購入等

議会の動き

4月

- 12日 議会だより編集委員会
- 17日 委員会協議会(2常任委員会)
議会だより正副委員長会議
- 18日 第89回近畿市議会議長会定期総会
- 30日 民生教育常任委員会

5月

- 9日 総務産業建設常任委員会(現地踏査)
- 14日 行政視察受入(千葉県我孫子市)
- 15日 委員会協議会(2常任委員会)
- 16日 行政視察受入(富山県射水市)
米原市議会議員研修会
- 22日 全国市議会議長会 第100回定期総会等
- 24日 民生教育常任委員会 行政視察
- 27日 議会運営委員会
- 29日 議員全員協議会

6月

- 3日 議会運営委員会
- 6日 第2回定例会【初日】
議員全員協議会、予算・決算常任委員会(全体会)
議会だより編集委員会、米原駅東口駅前開発特別委員会
- 10日 第2回定例会【2日目】一般質問
- 11日 第2回定例会【3日目】一般質問
総務産業建設常任委員会
- 12日 民生教育常任委員会、予算・決算分科会
- 13日 民生教育常任委員会、予算・決算分科会
- 18日 総務産業建設常任委員会、予算・決算分科会
- 19日 総務産業建設常任委員会、予算・決算分科会
- 20日 湖北地域消防組合議会 議会運営委員会
- 25日 議長要望活動
- 26日 予算・決算常任委員会(全体会)
- 27日 議会運営委員会
- 28日 第2回定例会【最終日】
議員全員協議会
総務産業建設常任委員会
予算・決算常任委員会(全体会)



議会だより編集委員会

- 委員長 山口 久志 副委員長 振角 大祐
- 委員 鹿取 和幸 委員 細野 正行
- 委員 山脇 正孝 委員 吉田 周一郎

次回 令和6年第3回(9月) 定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
【開会予定時刻】 開会日：10:00、一般質問・委員会：9:30、閉会日：10:15 ※日程・時間は、変更の場合有					8/30 開会日 予算決算 委員会	8/ 31
1	2	3 一般質問	4 一般質問	5 総務産業建設 委員会・予算 決算分科会	6 総務産業建設 委員会・予算 決算分科会	7
8	9 総務産業建設 委員会・予算 決算分科会	10 民生教育委員 会・予算決算 分科会	11 民生教育委員 会・予算決算 分科会	12	13	14
15	16	17	18	19 予算決算 委員会	20 議会運営 委員会	21
22	23	24 本会議	25 予算決算 委員会	26 総務産業建設 委員会・予算 決算分科会	27 総務産業建設 委員会・予算 決算分科会	28
29	30 総務産業建設 委員会・予算 決算分科会	10/1 民生教育委員 会・予算決算 分科会	10/2 民生教育委員 会・予算決算 分科会	10/3 民生教育委員 会・予算決算 分科会	10/4	10/ 5
10 /6	10/7	10/8	10/9	10/10 予算決算 委員会 議会運営委員会	10/11 閉会日	

議会の傍聴

傍聴を希望される方は、当日に米原市役所本庁舎5階・議会事務局へお越しください。

本会議の中継

開会日、一般質問、閉会日の本会議の様子は伊吹山テレビでご覧いただけます。

本会議の録画配信

本会議の様子を録画配信しています。
<http://www.kensakusystem.jp/maibara-vod/>



編集後記

元日に能登半島地震が発生し、自然の脅威を痛感しました。災害の復旧にしても、発生してから、すでに半年以上経過しました。時のたつのは、早いもので、東日本大震災など大きな災害の復旧には、多くの労力、財政、援助が必要になります。過去の経験を活かし、常に検討していくことが強く望まれると思います。過ぎ去ったことを忘れるのではなく、活かすことが大事です。

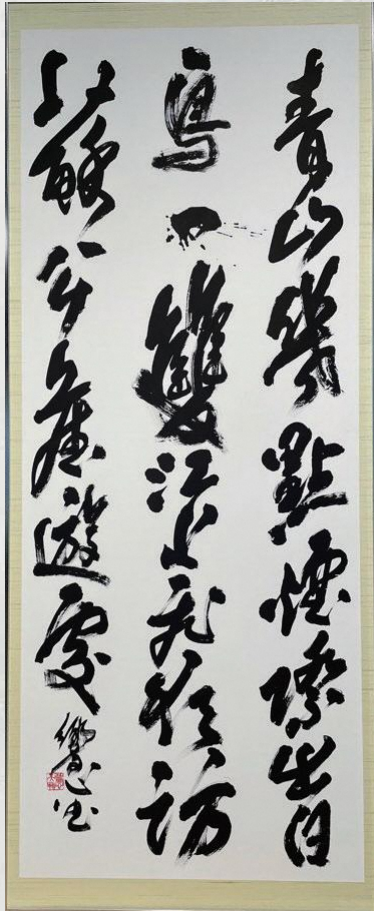
米原市では、少子高齢化、空き家の増加、自然環境の悪化など多くの課題があり、私たちが、ぜひとも改善に取り組んでいかなければならないことばかりです。人類の叡知を集め、数十年後を見据えた政策を進めていくことが、強く望まれると思います。

結びに、7月1日に伊吹地先で発生した土砂災害により、被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。生活の拠点を奪われた無念は、筆舌に尽くしがたいものと感じます。日常の生活を取り戻せるよう、精一杯支援を行っていく所存です。

(鹿取和幸)

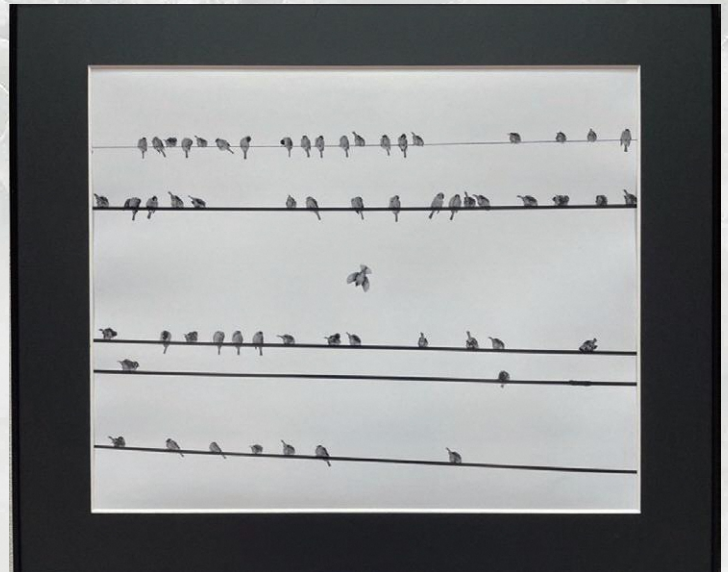
第19回米原市芸術展覧会 【市議会議長賞】

受賞おめでとうございます。



【書部門】

「陳璉詩」 岸本 景子 様



【写真部門】「合唱団」 木下 三千代 様



【絵画部門】

「路地裏」 本田 充 様



【彫刻・工芸部門】

「光る湖」 肥後 訓次 様

第19回米原市芸術展覧会の「市議会議長賞」受賞作品をご紹介します。作品を写真撮影し、印刷したものであるため、実際の作品の色味、サイズなどとは異なるものであることをご容赦ください。